

マイキラー 技術情報

(1) 虫体及びその周辺に直接散布した場合の効果及び作物の被害防止効果

(虫体に直接薬液がかかる場合)

サンケイ化学株式会社・日植防自社試験 2011 年

供 試 虫：チャコウラナメクジ

供 試 作 物：レタス

処 理 法：1㎡の木枠内にレタス苗を 21 株定植し、区の中央部にチャコウラナメクジを 10 頭放虫した。

放虫後、区全体に薬液 300ml を噴霧器で散布した。1 処理区について 3 反復取った。

調 査：1、3、6、7 日後に苦悶（マヒ）及び死亡した個体数とレタスの被害程度を調査した。

被害度については、食害および粘液跡の程度を調査対象とした。

3 反復の合計	供試	1 日後			3 日後			6 日後			7 日後			7 日後の被害度の 対無処理比 (%)
	虫数	生	マヒ	死	生	マヒ	死	生	マヒ	死	生	マヒ	死	
マイキラー 200 倍	30	0	30	0	0	30	0	0	0	30	0	0	30	0
マイキラー 500 倍	30	0	30	0	0	30	0	0	0	30	0	0	30	0
A 剤 1000 倍	30	0	30	0	0	30	0	0	0	30	0	0	30	29.7
無処理	30	30	0	0	30	0	0	30	0	0	30	0	0	—

- 虫体への直接散布では、200 倍液、500 倍液共に散布 1 日後で全個体がマヒし、6 日後には全個体が死亡しました。レタスへの食害も認められませんでした。

(2) 作物およびその周辺に散布した場合の被害防止効果

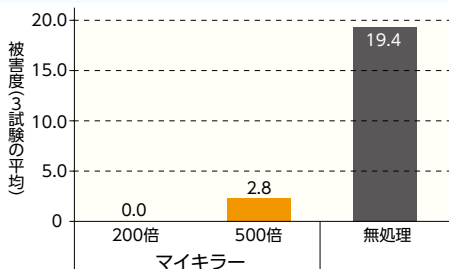
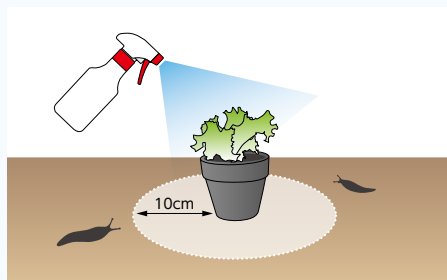
(虫体に直接薬液がかからない場合)

サンケイ化学株式会社（社内試験） 2018 年

対 象 害 虫：チャコウラナメクジ(自然発生)

試 験 方 法：夕刻にレタス苗（12cm ポット栽培）をナメクジ発生地の周辺にランダムに配置し、薬剤を植物体、ポット、ポットの周囲 10cm 程度の範囲に 300ℓ /10a 相当量散布。同様の試験を 3 回繰り返した。

調 査 方 法：処理 1 日後に、レタスの食害程度を程度別に調査し、被害度を算出した。



- 散布後 1 日程度であれば虫体に直接薬液がかからない場合でも被害防止効果が期待できます。（降雨などの環境条件により効果が低下する場合があります）



- 使用前によく振ってからご使用ください。
- ナメクジ類、カタツムリ類は夕方から朝にかけて活動しますので、活動を開始する夕方の散布をおすすめします。
- 降雨後など、湿度の高いときに散布することをおすすめします。
- カタツムリ類を対象に散布する場合は、カタツムリ類が活動しているのを確認してから散布してください。
(殻に閉じこもった状態(休眠状態)のカタツムリには効果が出ないおそれがあります)
- 次のような条件下では、効果不足のおそれがあるので散布しないでください。
 - ・極端な高温・乾燥
 - ・散布直後に多量の降雨が予測される場合
- ほ場周辺雑草地の生息地に使用する場合、ナメクジ類、カタツムリ類は雑草の間、石の下や敷きわらの下など暗く湿度の高い場所を好んで生息しますので、それらの場所に散布すると効果的です。
その際、作物にかからないよう十分に注意してください。